

# 平成30年度 福島県地域年金展開事業 取組結果

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

東北福島年金事務所  
(福島県代表事務所)

# 目次

1. 平成30年度の取組結果・ . . . . . 2頁
  - ① 地域連携事業
  - ② 年金セミナー事業
  - ③ 地域相談事業
  - ④ 年金委員活動支援事業
2. 「ねんきん月間」「年金の日」の取組・ . . . . . 20頁
3. マスコミでの取り上げ状況 . . . . . 21頁
4. 福島県内の各年金事務所における取組結果と課題 . 22頁  
(東北福島/郡山/平/会津若松/相馬/白河)
5. 福島県地域年金事業運営調整会議 . . . . . 28頁

# 1. 平成30年度の取組結果

## (1) 地域連携事業

### ■ 年金制度説明会の実施状況

事務所	企業・団体等		自治体・公的機関等		社労士会		社会保険協会・委員会等		受給者協会		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
東北福島	6回	1,004名	7回	286名	1回	45名	2回	140名	1回	80名	17回	1,555名
郡山	6回	871名	2回	42名	—	—	8回	330名	2回	113名	18回	1,356名
平	7回	698名	2回	78名	1回	35名	2回	81名	1回	46名	13回	938名
会津若松	6回	556名	8回	129名	—	—	2回	100名	2回	62名	18回	847名
相馬	4回	323名	3回	40名	—	—	1回	20名	1回	19名	9回	402名
白河	5回	233名	7回	84名	2回	14名	3回	55名	1回	30名	18回	416名
合計	34回 31回	3,685名 3,055名	29回 16回	659名 381名	4回 3回	94名 66名	18回 23回	737名 604名	8回 9回	350名 215名	93回 82回	5,514名 4,321名

(※1) 緑字は平成29年度実績。(※2) 企業等には算定・社会保険事務説明会を含む。



事業所向け年金制度説明会(社会保険事務講習会)の様子

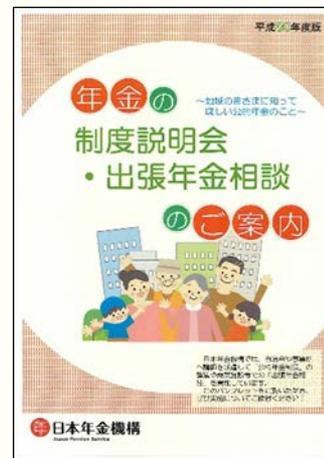


福島市商工観光部(シニア向け講座)の様子

# (1) 地域連携事業

## ■ 年金制度周知の取組

- ・生活保護新任査察指導員及び新任担当職員研修会への講師派遣
- ・管内市町村の国民年金担当者向け事務説明会の実施
- ・事業所の社会保険事務担当者向け説明会の実施
- ・福島県社会保険労務士会、福島県社会保険協会・委員会が主催する研修会への参加及び制度説明
- ・民生委員会合での制度説明
- ・企業(団体)等に出向いて従業員・加入員を対象とした説明会の実施
- ・自治体の年金講習会への講師派遣



年金制度説明会申込み用パンフレット

## ■ 関係機関(団体)等への協力依頼

- 「ねんきんネット」周知にかかる主な取組
  - ・市町村へのポスター掲示依頼
  - ・関係団体の研修会でのリーフレット配布と利用促進依頼
  - ・商業施設へのリーフレット設置依頼
- 「年金予約相談」拡大の主な取組
  - ・ハローワークへのポスター掲示・チラシ設置依頼
  - ・金融機関へのポスター掲示依頼
  - ・年金委員を通じて地域住民・従業員への周知依頼
- 「わたしと年金」エッセイ募集の主な取組
  - ・教育機関へのポスター掲示・リーフレット設置依頼
  - ・商工会議所・商工会へのポスター掲示・リーフレット設置依頼
  - ・報道機関への記事掲載依頼



# (1) 地域連携事業

## ■ 制度説明会の実施状況

事務所別	企業・団体等/社労士会/受給者協会	受講者数	自治体・公的機関等	受講者数	社会保険協会・委員会等	受講者数
東北 福島	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県社会保険労務士会 福島支部研修会</li> <li>算定基礎届事務説明会(福島市)2回</li> <li>福島医療生活協同組合</li> <li>社会保険事務講習会(福島市、二本松市)</li> <li>年金受給説明会(福島市)</li> <li>管内事業所</li> </ul>	45 347 20 567 80 70	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活保護新任査察指導員及び新任担当職員研修会</li> <li>管内市町村新任担当事務説明会</li> <li>福島市商工観光部(シニア向け講座)</li> <li>退職準備セミナー(福島市)</li> <li>福島市三河台学習センター(高齢者教育講座)</li> <li>市町村及び病院担当者障害年金事務研修会</li> <li>管内市町村国民年金事務担当者研修会</li> </ul>	75 12 50 34 60 39 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島社会保険委員会 総会・研修会</li> <li>福島社会保険委員会 研修会</li> </ul>	65 75
郡山	<ul style="list-style-type: none"> <li>郡山年金受給者協会 総会</li> <li>算定基礎届事務説明会(郡山市)</li> <li>双葉郡小中学校事務研修会</li> <li>NPO法人 かがみいしスポーツクラブ</li> <li>社会保険事務講習会(郡山市、田村市、須賀川市)</li> <li>年金受給説明会(郡山市)</li> </ul>	50 341 20 20 490 63	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内市町村新任担当事務説明会</li> <li>退職準備セミナー(郡山市)</li> </ul>	10 32	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県社会保険協会郡山支部・郡山社会保険委員会・年金セミナー(郡山、田村市、須賀川市、石川町)</li> <li>年金委員研修会(郡山、田村市、須賀川市、石川町)</li> </ul>	252 78
平	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内事業所</li> <li>福島県社会保険労務士会 いわき支部研修会</li> <li>管内事業所</li> <li>算定基礎届事務説明会(いわき市)</li> <li>社会保険事務講習会(いわき市)2回</li> <li>年金受給説明会(いわき市)</li> <li>管内事業所</li> <li>管内事業所</li> </ul>	25 35 15 218 340 46 50 50	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内市町村新任担当事務説明会</li> <li>退職準備セミナー(いわき市)</li> </ul>	12 66	<ul style="list-style-type: none"> <li>平社会保険委員会 総会・研修会</li> <li>平社会保険委員会 研修会</li> </ul>	60 21
会津 若松	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内事業所</li> <li>算定基礎届事務説明会(会津若松市、南会津町)</li> <li>社会保険事務講習会(会津若松市)</li> <li>年金受給説明会(会津若松市)</li> <li>管内事業所</li> <li>年金受給者協会研修会</li> <li>管内事業所</li> </ul>	12 195 289 27 30 35 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>三島町民生児童委員協議会</li> <li>管内市町村担当者事務説明会(5回)</li> <li>退職準備セミナー(会津若松市)</li> <li>市町村及び病院担当者障害年金事務研修会</li> </ul>	15 34 41 39	<ul style="list-style-type: none"> <li>会津若松社会保険委員会 総会・研修会</li> <li>会津若松社会保険委員会 研修会</li> </ul>	50 50
相馬	<ul style="list-style-type: none"> <li>南相馬市原町区太田地区まちづくり委員会</li> <li>算定基礎届事務説明会(南相馬市)</li> <li>社会保険事務講習会(相馬市、南相馬)</li> <li>年金受給説明会(相馬市)</li> </ul>	48 105 170 19	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内市町村新任担当事務説明会</li> <li>退職準備セミナー(南相馬市)</li> <li>相馬市まちづくり出前講座(民生委員)</li> </ul>	3 22 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>相馬社会保険委員会 総会・研修会</li> </ul>	20
白河	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県社会保険労務士会 白河支部研修会</li> <li>算定基礎届事務説明会(白河市)2回</li> <li>関守会</li> <li>福島県社会保険労務士会 白河支部研修会</li> <li>社会保険事務講習会(白河市、棚倉町)</li> <li>年金受給説明会(白河市)</li> </ul>	8 103 6 6 124 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内市町村担当者事務説明会</li> <li>退職準備セミナー(西郷村)</li> <li>管内市町村国民年金事務担当者研修会</li> <li>白河ハローワーク職員向け制度説明会(4回)</li> </ul>	10 29 13 32	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島社会保険協会白河支部 研修会</li> <li>白河社会保険委員会理事会・総会・記念講演会</li> <li>白河社会保険委員会役員会事務研修会</li> </ul>	8 24 23

(※) 出張年金相談及びハローワーク離職者説明会を除く。

# (1) 地域連携事業

## ■ 総括と課題

総 括	課 題
<p><b>【年金制度説明会】</b> 6月の事務説明会では、算定基礎届に特化した内容とし、10～11月の社会保険事務講習会では開催回数を増やし、平成30年10月から変更となった健康保険被扶養者異動届の確認・添付書類の変更点などを多くの事業所へ周知することができました。</p> <p>また、会津若松年金事務所において「市町村及び病院担当者障害年金事務研修会」を開催し、上席給付専門職が講師となり研修を行い、参加者からも好評をいただきました。</p> <p>福島県労働福祉協議会からの依頼により実施した「退職準備セミナー」については、県内各事務所管内で6回実施し、224名に対して「年金制度の概要と退職後の年金手続きについて」説明を行い、年金・社会保険などの基礎的な知識を知ることによって退職後の生活設計に役立てていただけるよう周知を図りました。</p> <p><b>【「ねんきんネット」及び「年金予約相談」の周知広報】</b> 関係機関(団体)の協力を得て、ポスター・チラシの配布を行いました。</p> <p>その結果、30年度末の「ねんきんネット」のユーザーID取得件数が全国で約622万人となり前年度と比べて約95.7万件(対前年度比18%増)となりました。</p> <p>「年金予約相談」では、東北地域第一部(福島県、宮城県、山形県)の平均予約率が83.6%となり、前年度より大幅に上昇しました。</p>	<p><b>【年金制度説明会】</b> 年2回の実務講習会においては、共催団体と連携して、届出・添付書類の変更点など申請をスムーズに行うための手続き方法など研修内容の充実を図り、タイムリーなテーマを取り入れた説明会を行えるよう、今後も協力してまいります。</p> <p>法改正などにより事務が複雑化するなかで、市町村・事業所などへのきめ細かな対応が必要になることから、今後も要望に応じて研修会を実施するなど各年金事務所が連携して研修会の開催や講師派遣について積極的に行ってまいります。</p> <p>また、さらに幅広く制度の周知を図るため、効果的な広報について、関係機関(団体)へ広報誌への記事掲載などの協力依頼を行いながら、新たな事業の展開についても検討していきます。</p> <p><b>【「ねんきんネット」及び「年金予約相談」の周知広報】</b> 関係機関(団体)との協力連携の結果、「年金予約相談」については徐々に定着しつつあります。予約していただくことで待ち時間の短縮ができるなどのメリットを今後も周知することで、更なる予約率向上に向け取り組んでまいります。</p> <p>しかしながら、年金事務所の窓口では混雑が続いており、緩和を図るためにも「ねんきんネット」を活用した加入記録の確認や年金見込み額の試算、各種通知書の再交付などその利便性について、現役世代から受給者まで幅広く活用していただけるよう周知方法など検討しております。</p>

## (2) 年金セミナー事業

### ■教育機関における年金セミナーの実施

公的年金制度の仕組みや社会の中で果たすべき役割・必要性について理解を得ることで、将来的な若年者層への納付率向上や年金受給権の確保のために年金セミナー事業を推進しているところです。

平成30年度においても、各教育機関のご協力をいただき、県内の対象校428校<sup>(※)</sup>のうち、62校(90回)4,079名の学生・生徒に対して年金セミナーを実施しました。前年度に比べ年金セミナーの実施校は全体で4校減、受講者数は714名減少したものの、実施回数は11回増加となりました。(※)内訳:公立・私立中学校(229校)、公立・私立高等学校(109校)、支援学校(23校)、大学・専門学校(67校)

#### ○教育機関別の年金セミナー実施状況

事務所名	大学・専門学校		支援学校		高等学校		中学校		合計	
	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数	実施校数	受講者数
東北福島	3校(7回)	285名	—	—	6校(8回)	857名	8校(20回)	775名	17校(35回)	1,917名
	4校(7回)	422名	—	—	8校(8回)	839名	6校(11回)	355名	18校(26回)	1,616名
郡山	6校(8回)	409名	1校(1回)	30名	2校(2回)	48名	2校(2回)	45名	11校(13回)	532名
	6校(8回)	390名	—	—	3校(3回)	337名	2校(2回)	79名	11校(13回)	806名
平	2校(2回)	114名	2校(2回)	21名	—	—	1校(4回)	117名	5校(8回)	252名
	1校(1回)	28名	—	—	4校(4回)	538名	—	—	5校(5回)	566名
会津若松	1校(1回)	36名	1校(2回)	6名	9校(9回)	693名	3校(5回)	119名	14校(17回)	854名
	2校(2回)	103名	—	—	6校(6回)	563名	7校(7回)	270名	15校(15回)	936名
相馬	1校(1回)	33名	1校(1回)	18名	4校(4回)	170名	1校(1回)	72名	7校(7回)	293名
	2校(2回)	86名	—	—	5校(5回)	352名	3校(5回)	200名	10校(12回)	638名
白河	4校(5回)	126名	—	—	2校(2回)	38名	2校(3回)	67名	8校(10回)	231名
	3校(3回)	131名	—	—	3校(4回)	96名	1校(1回)	4名	7校(8回)	231名
合計	17校(24回)	1,003名	5校(6回)	75名	23校(25回)	1,806名	17校(35回)	1,195名	62校(90回)	4,079名
	18校(23回)	1,160名	—	—	29校(30回)	2,725名	19校(26回)	908名	66校(79回)	4,793名

(※1)緑字は平成29年度実績 (※2)30年度の東北福島の中学校での実施回数のうち2回は郡山、2回は相馬で講師派遣を行ったもの。

(※3)29年度の東北福島の専門学校のうち1校1回は相馬、中学校のうち1校2回は相馬で実施。相馬の中学校のうち1校1回は東北福島で実施。

## (2) 年金セミナー事業

○大学・専門学校に対する学生納付特例制度パンフレットの配布依頼

学校名	福島大学	福島県立医科大学	福島学院大学	桜の聖母短期大学	福島看護専門学校	大原看護専門学校	福島介護福祉専門学校
配布部数	500部	220部	370部	320部	140部	50部	30部

### ■教員向け年金セミナーの実施

教職員の方々を対象に、公的年金制度の意義や仕組みについて理解を深め、年金教育指導の参考としていただくための「教員向け年金セミナー」を開催いたしました。

実施会場	開催日	参加者数
郡山会場	平成30年8月7日(火)	15名 (13名)
福島会場	平成30年8月8日(水)	7名 (5名)

※()は平成29年度実績

そのほか、学校からの依頼で「福島県立西郷支援学校」で教員を対象とした年金セミナーを実施しました。



推進員による教員向け年金セミナーの様子

## (2) 年金セミナー事業

### ■「わたしと年金」エッセイ募集

国民の皆さまに年金制度に対する理解を深めていただくため、中学生以上を対象に公的年金をテーマとしたエッセイの募集を行いました。

周知・広報については、教育機関、関係機関(団体)などにポスターやリーフレット設置のご協力をいただいたほか、年金セミナー実施の依頼とあわせたアプローチを各学校へ行っております。

【募集期間】平成30年6月1日～平成30年9月14日

【賞】 厚生労働大臣賞、日本年金機構理事長賞ほか

【応募状況】応募総数1,154件のうち、福島県の応募件数21件  
(うち、学生の応募件数16件)



「わたしと年金」エッセイポスター

### ■地域年金推進員の活動

学校との関係や生徒へ伝える能力に長けた教職員OB等を「地域年金推進員」として委嘱し、中学校・高等学校を中心に年金セミナーへの協力依頼をしております。

福島県内では、2名の推進員が県内の各学校をまわり、年金教育の必要性について校長・教頭先生へ直接アプローチを行っており、年金の早期教育の必要性や未加入になるリスクを丁寧に説明し、年金セミナー実施に繋げております。

#### 【主な活動内容】

- ・年金セミナー実施に向けたアプローチ
- ・年金セミナー講師
- ・機構職員に対して、説明スキル向上のためのアドバイスなど



推進員による年金セミナーの様子

## (2) 年金セミナー事業

### ■年金セミナーの実施状況（大学・専門学校）

実施月	大学	学年	受講者数	事務所名	専門学校	学年	受講者数	事務所名
5月	・福島学院大学	2	48	東北福島				
6月					・太田看護専門学校 ・学校法人 iwakiヘアメイクアカデミー ・白河厚生総合病院附属高等看護学院	2 1 2	71 32 32	郡山 平 白河
7月	・福島学院大学	2	25	東北福島	・福島県立総合衛生学院 ・郡山学院高等専修学校 ・日本調理技術専門学校	3 2 1, 2	13 58 101	東北福島 郡山 郡山
8月	・福島県農業総合センター農業短期大学校	1	56	白河	・郡山健康科学専門学校	1, 2	45	郡山
9月								
10月	・福島学院大学	1	92	東北福島				
11月	・福島学院大学	1	43	東北福島	・郡山ヘアメイクカレッジ ・福島県立テクノアカデミー浜 ・白河准看護学院	1 2 2	54 33 19	郡山 相馬 白河
12月	・福島学院大学	1	38	東北福島				
1月					・ケイセンビジネス公務員カレッジ(3回) ・仁愛看護専門学校	1 2	80 36	郡山 会津若松
2月					・磐城共立高等看護学校 ・しらかわ介護福祉専門学校(2回) ・福島県高等理容美容学院	1 1, 2 2	82 19 26	平 白河 東北福島
3月								

## (2) 年金セミナー事業

### ■年金セミナーの実施状況（高等学校・支援学校・中学校）

実施月	高等学校・支援学校	学年	受講者数	事務所名	中学校	学年	受講者数	事務所名
6月	・福島県立会津支援学校 竹田校(2回)	—	6	会津若松				
7月	・東日本国際大学附属 昌平中学・高等学校	3	17	白河	・天栄村立湯本中学校	3	3	郡山
8月					・須賀川市立岩瀬中学校	3	42	郡山
9月					・福島市立清水中学校 ・福島県立会津学鳳中学校(3回)	3 3	153 84	東北福島 会津若松
10月					・福島市立平野中学校(3回) ・いわき市立平第二中学校(4回)	3 3	77 117	東北福島 平
11月	・福島県立会津農林高等学校 ・福島県立猪苗代高等学校 ・福島県立坂下高等学校 ・福島県立喜多方東高等学校	3 3 3 3	100 57 43 108	会津若松 会津若松 会津若松 会津若松	・伊達市立月舘中学校	3	24	東北福島
12月	・福島県立福島北高等学校 ・福島県立福島商業高等学校 ・福島県立川俣高等学校(2回) ・福島県立いわき支援学校 ・福島県立耶麻農業高等学校 ・福島県立会津工業高等学校 ・福島県立田島高等学校 ・福島県立相馬支援学校	3 3 3 — 3 3 3 —	187 235 40 15 24 234 57 18	東北福島 東北福島 東北福島 平 会津若松 会津若松 会津若松 相馬	・伊達市立霊山中学校 ・福島市立北信中学校(8回) ・南会津町立荒海中学校 ・南会津町立南会津中学校 ・南相馬市立石神中学校	3 3 3 2 3	45 280 15 20 72	東北福島 東北福島 郡山 会津若松 会津若松 相馬
1月	・福島県立郡山北工業高等学校 ・星槎国際高等学校郡山学習センター ・福島県立西会津高等学校 ・福島県立川口高等学校 ・福島県立新地高校 ・福島県立原町高校 ・福島県立相馬高校 ・福島県立相馬東高校 ・福島県立福島南高等学校	3 1~3 3 3 3 3 3 3 3	40 8 35 35 60 20 50 40 80	郡山 郡山 会津若松 会津若松 相馬 相馬 相馬 相馬 東北福島	・福島市立伊達中学校(4回) ・福島市立立子山中学校	3 全	120 14	東北福島 相馬 東北福島
2月	・福島県立明成高等学校 ・福島県立福島西高等学校(2回) ・福島県立郡山支援学校 ・福島県立修明高等学校 鮫川校 ・平支援学校	3 1 全 3 3	235 80 30 21 6	東北福島 東北福島 郡山 白河 平	・西郷村立川谷中学校 ・伊達市立松陽中学校	2 3	10 62	白河 東北福島
3月					・中島村立中島中学校(2回)	3	57	白河

## (2) 年金セミナー事業

### ■ 総括と課題

#### 総 括

##### 【年金セミナー】

平成30年度においても、各教育関係機関からの支援・協力をいただきながら、各事業について文書や訪問による各学校への依頼、周知を行いました。

その結果、前年度より実施校数は4校減少したものの実施回数は11回増加となりました。主に中学校において1校につき複数回での実施があったことや地域年金推進員による年金セミナー未実施校への積極的なアプローチが実施に大きく貢献しております。

また、30年度からは県の特別支援教育課へ出向しアプローチを行ったほか、各年金事務所においても出向してアプローチを行うなどしたことで、支援学校で5校(6回)実施することができました。

生徒だけでなく、先生や保護者の方も一緒に参加いただき、保護者の方からは年金制度について分かりやすく大変ためになったとの感想もいただきました。

##### 【教員向け年金セミナー】

8月には、郡山、福島で「教員向け年金セミナー」を開催しました。

実施後のアンケートでは「公的年金制度について理解を深めることができた。」、「年金教育について、生徒に学習させる意義について考える機会となりました。」、「模擬授業を受けて今後の授業に活かしてみたいと思っています。」といったご感想をいただいています。

#### 課 題

##### 【年金セミナー】

年金セミナーを実施するにあたり、各教育関係機関へ文書で依頼するとともに、地域年金推進員においては1校につき2回以上アプローチを行うなど、きめ細かな対応をしていただいております。今後もアプローチ活動をサポートしながらセミナー実施に向けて努力してまいります。

また、30年度は相馬管内の高等学校において、福島県社会保険労務士会で実施している「ワークルールセミナー」とあわせたコラボ授業を実施しております。今後も学校の要望にあわせて「租税教室」や「ワークルールセミナー」とのコラボ授業の実施もPRしてまいります。

中学校では、複数クラスでの実施も増えており、管轄の年金事務所だけでは対応できない場合など、各年金事務所と協力しながら実施していきます。それにあたり、セミナー講師については情報を共有し、レベルアップできる機会を設けるなどの取り組みが必要です。

会津若松年金事務所では、支援学校からの職場体験の受け入れを行い、保護者の方からも好評いただきました。このような取り組みも引き続き行ってまいります。

##### 【教員向け年金セミナー】

地域年金推進員の積極的なアプローチにより、前年度に比べて参加者数が増加しました。

今後も参加者を増やすため、各学校へのアプローチや対象となる教職員の方々にとっても魅力のある内容となるよう、中身の充実を図ってまいります。

また、日程や開催場所の都合で参加できない教職員の方もいることから、教職員の研修会などでの実施についてアプローチしてまいります。

### (3) 地域相談事業

#### ■ 遠隔地における出張年金相談の実施

遠方にお住まいの方などで、年金事務所に直接出向くことが難しいお客様の利便性向上のため、県内各所にて出張年金相談を実施しております。年金相談の実施日については、市町村の広報誌や社会保険協会等の広報誌に掲載していただいているほか、地域型年金委員向け広報紙「支えあい」に掲載し周知に努めております。

事務所	実施場所	実施日/回数	合計回数	相談者数
平	いわき市役所 勿来支所	毎月 / 1回（第4水曜日）	12回 12回	39名 51名
会津若松	喜多方市役所	毎月 / 1回（第2木曜日）	12回 12回	77名 91名
	御蔵入交流館	毎月 / 1回（第4木曜日）	12回 12回	43名 63名
相馬	南相馬市役所	毎月 / 2回（第2、4水曜日）	24回 22回	94名 89名
合計			60回 58回	253名 294名

※緑字は平成29年度実績

### (3) 地域相談事業

#### ■ その他の出張年金相談等の実施

##### (1) 行政評価事務所の「一日合同行政相談所」における年金相談会の実施

福島行政評価事務所主催の一日合同行政相談所にて、出張年金相談を行いました。

事務所	開催場所	開催日	相談者
平	LATOV「ラトぶ」(いわき市複合施設)	平成30年10月26日(金)	8名

##### (2) 商業施設等における出張年金相談の実施

11月の「ねんきん月間」の取組のなかで、ショッピングセンター内にて出張年金相談を開催しました。

広報については、対象地区(二本松市、本宮市、大玉村)の国民年金担当課へポスター掲示の協力をいただいたほか、本宮市および大玉村へ防災無線等を活用した住民の方への周知をお願いしました。



ショッピングセンター内の会場の様子

事務所	開催場所	開催日	相談者
東北福島	大玉村のショッピングセンター (PLANT5)	平成30年11月30日(金)	14名

## (3) 地域相談事業

### (3)ハローワークにおける離職者を対象とした説明会の実施

ハローワークにて、国民年金への手続きの周知を図るため、退職者に対し加入・納付・免除制度についての説明会を実施しております。

事務所	実施場所	実施回数	出席者数
白河	ハローワーク白河	49回	1,371名

## ■ 総括と課題

総 括	課 題
<p>【出張年金相談】 遠隔地における出張年金相談においては、市町村と連携し、60回253名の相談を実施しました。 また、東北福島年金事務所管内にあるショッピングセンター内で毎年出張年金相談を実施し、広報面においては市町村からの協力を得ながら地域に根ざした取組として浸透しております。</p> <p>【ハローワークでの説明会】 ハローワークと連携し離職者を対象とした説明会に参加させていただき、申請書等の書類受付をあわせて行うことで受講者へのメリットのある取組として引き続き継続していきたいと考えております。</p>	<p>【出張年金相談】 周知・広報について、県内の適用事業所へ送付するお知らせや社会保険協会で発行している広報誌、市町村が発行する広報誌への掲載を依頼し幅広い広報を行ってまいります。 また、商業施設での実施は遠隔地にお住まいの方にとって便利であるとともに、より年金を身近に感じていただける機会となっているため、イベントなど人の多く集まる場所での実施について、今後も検討してまいります。</p> <p>【ハローワークでの説明会】 離職者を対象とした説明会は全国的には広く実施されており、福島県内においては白河年金事務所のみとなっているため、他事務所での実施について検討が必要だと考えております。</p>

## (4) 年金委員活動支援事業

### ■ 年金委員委嘱者数

事務所名	平成29年度末 (A)			平成30年度末 (B)			増減 (B)-(A)		
	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計	職域型	地域型	合計
東北福島	560	25	585	560	20	580	0	▲5	▲5
郡山	531	13	544	523	13	536	▲8	0	▲8
平	415	21	436	415	19	434	0	▲2	▲2
会津若松	373	20	393	376	17	393	3	▲3	0
相馬	169	8	177	171	3	174	2	▲5	▲3
白河	242	20	262	234	16	250	▲8	▲4	▲12
県内計	2,290	107	2,397	2,279	88	2,367	▲11	▲19	▲30



外部講師による地域型年金委員研修会での講演の様子(11月)

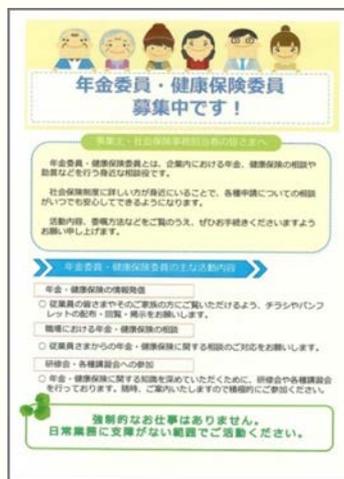
職域型年金委員に対して、福島県社会保険協会及び福島県社会保険委員会連合会と合同で研修会を開催しました。また、福島県社会保険委員会各支部の研修会において、年金制度に関する説明を行いました。

地域型年金委員に対しては、6月・11月に研修会を開催したほか、各事務所にて連絡会や意見交換会とあわせた研修会を実施しました。

## (4) 年金委員活動支援事業

### ■ 年金委員への情報提供

実施年月	対象年金委員	内容
H30. 5月	職域型・地域型	・平成30年度における年金委員の重点的な活動内容等について周知 ・「ねんきんネット」チラシ等の資料送付
7月	地域型	・地域型年金委員広報紙「支えあい(第13号)」送付
11月	職域型・地域型	・ねんきん月間用「ねんきんネット」リーフレット送付 ・地域型年金委員広報紙「支えあい(第14号)」送付
12月	地域型	・「アニュアルレポート2017」送付
H31. 3月	地域型	・地域型年金委員広報紙「支えあい(第15号)」送付



全国健康保険協会福島支部との協働勧奨で使用したチラシ

### ○ 年金委員委嘱拡大の取組

職域型への加入勧奨については、1月に全国健康保険協会福島支部との連名で年金委員未加入事業所に対して依頼文書を送付しました。また、定期的に研修会等で勧奨を行っております。

地域型への加入勧奨では、福島県社会保険委員会連合会のご協力を得て、研修会において退職する職域型年金委員への地域型移行をご案内していただきました。また、地域型年金委員連絡会等において委員よりアドバイスをいただきながら、委嘱拡大への取組を行っております。

## (4) 年金委員活動支援事業

### ■ 年金委員の功労者表彰伝達式の実施

多年にわたり年金事業の推進および発展に貢献された年金委員の方々に、年金委員功労者表彰を行いました。全国健康保険協会福島支部、福島県社会保険協会、福島県社会保険委員会連合会との共催により、委員研修会とあわせて開催し、積極的に活動されている委員に対しては、独自に各年金事務所長表彰を設け、委嘱年数に関わらず感謝状を授与させていただいております。

【開催日】 平成30年11月15日(木)

【開催場所】 コラッセふくしま

【表彰対象】 厚生労働大臣表彰(※)	2名
日本年金機構理事長表彰	5名
全国健康保険協会理事長表彰	2名
日本年金機構理事表彰	14名
(一財)福島県社会保険協会長感謝状	11名
福島県社会保険委員会連合会感謝状	12名
全国健康保険協会福島支部長表彰	7名
日本年金機構事務所長感謝状	21名

※共催団体の表彰者を含む



表彰伝達式における委員研修会の様子

## (4) 年金委員活動支援事業

### ■ 地域型年金委員連絡会の実施

地域型年金委員が所属する管内の年金事務所において、地域型年金委員と年金事務所間の情報共有、活動依頼、支援事項の伝達及び地域年金委員相互間の情報共有を図ることを目的として、平成29年6月より「地域型年金委員連絡会」を定期的に開催することといたしました。

#### ○ 地域型年金委員連絡会の実施状況

事務所名	実施月	参加者数	主な研修テーマ	主なご意見
東北福島	9月	7名	・扶養親族等申告書について	<b>【年金委員活動について】</b> ・知っている人だと相談しづらいと言われた。出張相談があれば、地域型年金委員も一緒に参加するというのも一つの方法だと思う。 ・地域での周知活動をするにも、誰も年金委員のことが分からず委嘱状を見せ活動した。自治体等へ年金委員の組織の周知をしてほしい。  <b>【年金委員の委嘱拡大について】</b> ・民生委員の研修でPRしてはどうか。 ・地域型年金委員が不在となっている地区からまず選出するのが大切だと思う。
	3月	10名	・年金生活者支援給付金について ・平成31年度の年金額改定について	
郡山	10月	4名	・扶養親族等申告書について	
平	7月	2名	・「年金委員(地域型)活動の手引き」について	
	8月	10名	・「退職後の年金手続きガイド」について	
会津若松	10月	6名	・年金生活者支援給付金について ・年金委員活動について	
白河	5月	10名	・年金委員活動について	
	12月	10名	・産前産後の免除制度について	

## (4) 年金委員活動支援事業

### ■ 総括と課題

総 括	課 題
<p>【年金委員の委嘱拡大】 福島県内の委員数については、職域型が6名減少、地域型が19名減少し、結果として30名と大幅な減少となりました。地域型年金委員の減少が著しく、高齢により辞退されたことが主な要因です。</p> <p>【地域型年金委員連絡会】 地域型年金委員に対しては、6月より「地域型年金委員連絡会」を各年金事務所で開催し、これまで横の繋がりが少なかった委員同士の交流を図ることができました。また令和元年10月より施行される年金生活者支援給付金について町内会や金融機関、民生委員が集まる場で周知していただくなど協力をいただきました。</p>	<p>【年金委員の委嘱拡大】 地域型・職域型ともに委嘱拡大が最大の懸案事項となっております。 特に地域型年金委員については、委員からの意見として地域型年金委員のいる地区といない地区とで制度周知に格差が出るなどの懸念の声が上がっています。そのため、現状を把握し、地域型年金委員については、推薦母体である受給者協会、市町村への働きかけを行ってまいります。 また、職域型年金委員については、社会保険協会、全国健康保険協会、社会保険委員会と連携を図りながら、委嘱拡大に努めるとともに、社会保険労務士会への働きかけも行ってまいります。</p> <p>【地域型年金委員連絡会】 昨年度から連絡会を開催し、遠方にお住まいで県全体の研修会に参加が難しい方からも参加いただいております。特に新しく委員になった方への活動をフォローしながら、参加しやすく一人ひとりの声を上げやすい環境づくりを図ってまいります。 また、11月に開催しました県全体の研修会において、外部講師を迎え、介護保険制度について講演をいただき大変好評をいただきました。今後も委員のニーズに合った研修内容を検討していきます。</p>

## 2. 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

日本年金機構では、11月を「ねんきん月間」として、また11月30日(いいみらい)を「年金の日」として積極的に公的年金制度の周知・啓発活動を行っております。

事務所名	取組内容
福島県内	平成30年度 委員研修会並びに年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式の実施
福島県内	平成30年度 福島県地域型年金委員研修会の実施
各年金事務所	平成30年度「社会保険事務講習会」の実施
東北福島・平・会津若松・相馬	出張年金相談の実施
各年金事務所	年金受給者説明会の実施
各年金事務所	退職準備セミナーの実施
各年金事務所	管内の大学等で年金セミナーを実施
東北福島	管内の学習センターで年金制度説明会の実施
会津若松	管内市町村新任事務担当事務説明会の実施
白河	幼稚園児による絵画展の実施

### 3. マスコミでの取り上げ状況（一部掲載）

年金セミナーの開催及び「わたしと年金」エッセイ募集等について、県政記者クラブへ投げ込みを行った結果、下記のとおり紙面への掲載をいただきました。

掲載年月日	メディア名	事業内容
平成30年7月13日(金)	福島民報新聞	年金セミナー(福島学院大学)
平成30年7月21日(土)	福島民報新聞	第12回 福島県地域年金事業運営調整会議
平成30年7月22日(日)	福島民友新聞	「わたしと年金」エッセイ募集
平成30年7月29日(日)	福島民報新聞	「わたしと年金」エッセイ募集
平成30年8月12日(日)	福島民報新聞	教員向け年金セミナー
平成30年11月5日(月)	NHK TV	年金セミナー開催のお知らせ(福島学院大学)
平成30年11月10日(土)	福島民報新聞	平成30年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式(開催)
平成30年11月14日(水)	福島民友新聞	
平成30年11月16日(金)	福島民友新聞	平成30年度 年金委員・健康保険委員・事業主表彰伝達式(受賞者発表)
平成30年11月20日(火)	福島民友新聞	白河幼稚園児絵画展
平成31年2月3日(日)	福島民友新聞	第13回 福島県地域年金事業運営調整会議

※掲載いただいた一部の内容について紹介しております。

## 4. 福島県内の各年金事務所における取組結果と課題

### 東北福島年金事務所

#### 年金セミナー事業

##### ● 年金セミナーの実施

平成30年度の実績は、大学2校(6回)、専門学校1校(1回)、高等学校6校(8回)、中学校8校(16回)、合計17校、31回実施しました。新規の実施校は、高等学校3校、中学校4校、専門学校1校となっており、全体の半数を占めました。推進員の先生方のきめ細やかなアプローチと教育関係機関の皆様のご理解ご協力の賜物と考えております。通常の業務を行いながら、セミナー講師をどう育成し、派遣するかが、引き続きの課題となり、県全体で取り組んでまいります。

#### 地域連携事業

##### ● 年金制度説明会の講師派遣

平成30年度は17回、制度説明会を実施し、そのうち8回は、年金受給に関するテーマで実施しています。対象は、市町村の事務担当者から年金受給者、年金請求間近な被保険者と様々です。対象者のニーズや理解度を考慮しながら、講義テーマや資料など工夫しております。年金を請求する前に知っておきたいこと、受給してからも毎年届く通知の見方など、地域の方々の「もっと知りたい」にお応えできるよう今後も説明会実施にむけ広報活動も含め地道に取り組んでまいります。

## 4. 福島県内の各年金事務所における取組結果と課題

### 郡山年金事務所

#### 年金セミナー事業

##### ● 今年度のセミナー実施状況

平成30年の年金セミナー事業は12校15回(中学校4・高等学校2・専門学校8・支援学校1)実施しました。※東北福島との共同実施を含む。

現役世代後の生活について一緒に考えながら、学生であっても20歳になったら加入手続きをしたうえで、その後のシーン毎に各手続きを続けることにより、共に支えあいながら将来の給付に結びつけるように年金の重要性をお伝えしました。

#### 年金委員活動支援

##### ● 年金委員へ向けた講習会・研修会の開催

今年度は年金委員の皆様に向けて、下記イベントを実施しました。

- 6月:社会保険事務(算定基礎届)講習会、○ 9月:年金セミナー(郡山、須賀川、田村、石川の4会場)
- 10月:地域型年金推進委員連絡会、○ 10月・11月:社会保険事務講習会(郡山、須賀川、田村、石川の4会場)、○ 1月、2月:年金委員(職域型・地域型)研修会(田村、石川、須賀川、郡山の4会場)、○ 2月:地域型年金委員連絡会

お忙しい中、沢山の委員の方にご参加いただきました。

研修会で受けたご質問や、連絡会で出たご意見、ご要望などは今後の年金活動支援へ役立てていきます。年金委員の皆様には、昨年度に引き続き予約相談の広報についてご協力をお願いすると共に、ねんきんネットの普及・啓発活動にもご協力をお願いしました。

## 4. 福島県内の各年金事務所における取組結果と課題

### 平年金事務所

#### 年金セミナー事業

##### ● 年金セミナー実施に向けて

地域年金推進員による積極的なアプローチ、その後、職員による個別のアプローチを実施することにより、平成30年度は前年度より3回多くセミナーを実施することができました。また、講師のレベルアップを図るため、年度当初より、各課(室)から1名ずつ年金セミナー担当(若手)を指名しました。そして、本番前のデモンストレーションにおいて、講師がリハーサルを行い、時間配分、前回のアンケート結果を確認する等により、学生たちに年金制度を正しく理解してもらえよう実施してきたところです。

#### 年金委員活動支援

##### ● 地域型年金委員活動の充実

平成30年度は地域型年金委員との意見交換会・研修会を3度行いました。地域型年金委員の皆様の日ごろの活動内容、年金委員としての地域での役割等についての忌憚ない発言があり、大変有意義なものでした。

また、年金セミナーでの会場整理、パンフレットの配布、アンケートの回収等の活動支援もしていただきました。

今後も年金委員の方々と行動を共にし、年金制度の普及、広報に努めていきます。

## 4. 福島県内の各年金事務所における取組結果と課題

### 会津若松年金事務所

#### 地域連携事業

##### ● 年金制度説明会

平成30年度は18回の制度説明会を実施しております。平成30年度は大きな制度改正等もなかったところですが、前年度の社会保険委員会・商工会等各種団体でのアプローチ等もあり前年度より4回多い開催となりました。

今年度は初めての試みとして、医療機関の担当者と市町村事務担当者を対象として障害年金の制度説明会を開催しました。参加者からも好評でしたので継続した開催を検討します。

#### 年金セミナー事業

##### ● 年金セミナーの実施

平成30年度は前年度同様に早めのセミナーアンケートを実施し、また地域年金推進員のアプローチもあり、前年度より2回多い17回の年金セミナーを開催しております。

今年度は職場体験授業の受入れ等もあり初めてのことで戸惑った部分もありますが、良い体験ができたとお礼状もいただき、職員のモチベーションも上がりました。

次年度以降も引き続き、積極的にアプローチを行いセミナー開催に注力していきたいと考えています。

## 4. 福島県内の各年金事務所における取組結果と課題

### 相馬年金事務所

#### 地域連携事業

##### ● 関係機関(団体)との協力・連携

平成30年度は各関係機関と積極的に連携を図り、年金制度説明会等に講師派遣を実施しました。また、地域住民の利便性の観点から、南相馬市役所での出張年金相談を毎月第1・第3水曜日の2回実施しました。

令和元年度においても、引き続き関係機関(団体)主催の年金制度説明会において積極的な講師派遣を行うとともに、自治体との連携を深め公的年金制度の周知・啓発に努めてまいります。

#### 年金セミナー事業

##### ● 年金セミナーの実施と今後の取組

平成30年の年金セミナー事業は7校(中学校1・高等学校4・支援学校1・専門学校1)実施いたしました。事務所内で若手職員を中心に「年金セミナーPT」を立ち上げ、事前準備の徹底を図り、わかりやすい説明に努めた結果、セミナー後のアンケートでは生徒の皆さんから「20歳になったら加入手続きをすることの大切さが分かった」「将来の年金だけではなく、障害年金や遺族年金があることがわかった」等の好意的なご感想を数多くいただいております。

令和元年度においては各学校へ積極的なアプローチを行い、昨年度を上回る開催を目指します。また、受講者全員に、より年金に対して理解を深めてもらえるよう、講師のスキルアップを図り更なる充実したセミナーの実施を行ってまいります。

## 4. 福島県内の各年金事務所における取組結果と課題

### 白河年金事務所

#### 地域連携事業

##### ● 公的年金制度の周知にかかる広報活動

各市町村へ広報紙の記事掲載の依頼を行い、ねんきんネット、予約年金相談、国民年金保険料の納付及び免除制度等、幅広い内容で掲載をいただいております。

広報紙は、信頼度も高く、身近に閲覧できる有効なツールであることから、引き続き掲載にかかる取組みを強化してまいります。

また、平成30年度は管内の幼稚園児121名の絵画展を当年金事務所の2階大会議室で開催し、「祖父母」(大切な人)をテーマに似顔絵を描いてもらいました。

多くの園児や保護者の方々、来所されたお客様が見学され、年金事務所を身近に感じていただきました。

#### 年金セミナー事業

##### ● 年金セミナーの実施と今後の取組

平成30年の年金セミナー事業は8校10回(中学校2・高等学校2・専門学校3・大学校1)実施しました。生徒が実際に将来設計等を考えながら参加し、講師の体験談を交えた分かりやすい進め方を意識しました。「20歳になったら加入手続きをすることの大切さが分かった」「年金の必要性が理解できた」といったご感想を数多くいただいております。

また、アンケート結果のお届けと併せて次年度に向けた実施のアプローチを行い、着実に次年度に繋げる取組みも行ってまいります。引き続き年金セミナー講師のスキルアップを図り、更に充実した内容で今後も制度周知を図ってまいります。

## 5. 福島県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう地域における支援のネットワークを構築し、地域に根ざした年金事業の積極的な推進を図ることを目的として地域年金事業運営調整会議を開催したところです。

会議では、資料に基づき平成30年4月から12月までの福島県における地域年金展開事業の取組状況及び平成31年度の事業計画(案)について説明したほか、事業計画にかかる年金セミナーの拡充に向けて、日本年金機構本部で実施した「年金セミナー王優秀作品」を視聴していただきました。

【開催日】 平成31年1月28日(月)13:30～16:00

【開催場所】 コラッセふくしま

【出席者】 委員 ※ 16名

日本年金機構 12名

※代理出席を含む

【議事内容】 ・平成30年度 地域年金展開事業 取組経過  
・平成31年度 地域年金展開事業 事業計画(案)



年金セミナー王優秀賞を受賞したセミナーの視聴の様子

## 5. 福島県地域年金事業運営調整会議

### ■第13回会議にかかる主なご意見と取組状況

事業種類	ご意見	対応状況
地域連携事業	<p>【第1号被保険者に対するの広報】 第1号被保険者に対してどのような手段を使って広報していくのか、丁寧な周知方法を検討するのが課題ではないか。</p>	<p>機構内の広報のほかに、地方紙、市町村の広報誌、商工会議所、商工会などに働きかけを行い、年間を通じて協力連携をお願いしてまいります。</p>
	<p>【広報について】 商工会議所の会員は、半数以上が個人事業主で国民年金加入者がほとんどである。それぞれの会議所の所報、会報やホームページで年金説明会の日程や制度改正について広報することができる。 分かりやすい動画等もネットにあげたりの協力もできるのではないか。</p>	<p>管轄の年金事務所ごとに各商工会、商工会議所に伺って、相談させていただきます。</p>
年金セミナー事業	<p>【年金セミナーの実施拡大について】 進学校での実施がすすんでいないようだが、アプローチの方法として、1、2年生を対象にするとか、一部のクラスを対象に実施してもらう等のやり方があるのではないか。 年度当初の校長会の理事会への働きかけも有効ではないか。</p>	<p>アプローチの際に学校側のニーズをつかみ、多様な選択肢を提案していきます。 校長会への協力要請は、いままでも行っていますが、年金教育の重要性について、理解を得られるよう引き続き取り組んでいきます。</p>
	<p>【セミナーの内容について】 年金の基礎知識のない中学生向けには、分かりやすい資料、説明が必要である。租税教室でやっているような1億円の束を見せるといった実物資料を用意したり、クイズ形式で生徒参加型の授業を行い、生徒の興味を引き出すことが大切ではないか。</p>	<p>年金についての基礎知識のない生徒でも、興味を持ってセミナーに参加いただけるような資料づくりを行います。また、セミナーを通じて、生徒が参加し、老後やもしものリスクについて、考えていただく場を提供できるよう取り組んでいきます。</p>

## 5. 福島県地域年金事業運営調整会議

### ■第13回会議にかかる主なご意見と取組状況

事業種類	ご意見	対応状況
年金セミナー 事業	【年金セミナー・制度説明】 難しい話をどのようにわかりやすく、噛み砕いて説明するのか検討する必要があるのではないか。	講師のスキルアップについては、各事務所内で時間を作って取り組んでおります。セミナーの対象により、伝えるポイントをしぼり、わかりやすい事例などを盛り込みながら伝えていくよう講師養成を行います。また、セミナーのなかで視聴いただいている10分間の動画については、わかりやすいと感想を広くいただいているので、今後も引き続き活用していきたい。
	【推進委員について】 学校へのアプローチ数からみても、推進員の先生方の貢献度がわかる。増員等の対応は、考えていないのか。	推進員の配置については、機構本部で決められているので、推進員の貢献度について引き続き機構本部に説明し、増員するよう働きかけていきます。
年金委員活動 支援事業	【年金委員の委嘱拡大について】 ホームページや広報誌などあらゆる機会を使って、知名度の向上や勧奨を行ってはどうか。	地域型、職域型ともに知名度や役割についての広報がまだ足りていないので、市町村役場や事業所、地域に向けて、広報や勧奨を引き続き行ってまいります。